

平田航空路監視レーダー事務所の組織廃止について

国土交通省平田航空路監視レーダー事務所が、本年3月31日をもって、組織を廃止されることとなりましたので報告します。

1 経過

平田航空路監視レーダー事務所は、全国の航空路をレーダーでカバーする航空保安システムの近代化計画の一環として、平成元年5月に、全国で15番目の航空路監視レーダー施設として、平田町に発足した。(レーダーサイトは、出雲市本庄町の摺木山(すりきさん：標高415m)山頂に設置)

2 事務所の組織廃止の背景

管制技術業務の効率化を図るため、全国8か所(大阪、福岡、東京、新千歳、鹿児島、那覇、中部、仙台)にシステム運用管理センター組織を発足し、遠隔監視機能の強化が図られてきた。これにより、平田航空路監視レーダーも大阪システム運用管理センターから直接管理ができるようになったことから、廃止されることとなった。

3 現在の平田航空路監視レーダー事務所(基地局)の概要

① 組織と人員

- ・ 国土交通省大阪航空局の組織
- ・ 事務所長、前任航空管制技術官、航空管制技術官、臨時職員1人の合計11人体制

② 所掌業務

- ・ 情報の送受信⇒基地局を経由せずに直接送受信に変更

摺木山山頂に設置された平田レーダーサイトで得られたレーダー情報及び対空通信情報がマイクロウェーブ回線により、約5km離れた平田航空路監視レーダー事務所(基地局)へ送られ、この情報をNTT回線により東京と福岡の航空交通管制部へ伝送

- ・ 諸施設の維持管理

(レーダーサイト側) レーダー装置、対空送受信装置等 ⇒存続

(基地局側) 事務所、遠隔制御監視装置、マイクロ波中継装置等 ⇒廃止



平田支所

平田広域交番

平田航空路監視レーダー事務所



平田レーダーサイト
(摺木山)



平田航空路監視レーダー事務所